



前々から海外には漠然と興味がありましたが、トビタテを受けようと決めたのは、中学 3 年生の頃でした。当時の私は探究活動に興味があり、長田特色選抜の受験も考えていました。そんな中、語学ではなく探究活動で、好きな国に好きな期間で海外留学ができるトビタテの存在を知り、普通科に通いながら、探究・留学を進めていこうと決めました。

元々建築・デザインに興味があったので、知り合いからドイツ人建築士の A さんを紹介して頂き、インターンと 1 週間のホームステイをしました。その後 A さんから紹介頂いたドイツ人のご家族のもとで 3 週間生活しました。WG パーティーや、ホストファミリーの親戚の誕生会、ベルリンの都市や歴史的建築物巡り、日曜マーケットなど、たくさんのドイツ文化に触れることができました。

私が今回の留学で驚いたのは、サステイナビリティに対する意識の高さです。私が伺ったベルリンにある建築事務所では、土地から採取した土を 100%使った建物の計画が行われており、そのための実験ラボを見学させて頂きました。その土地の土のみを使えば、（実験のための輸送などを除き）CO₂排出量は 0 となり、加えて建物を取り壊したとしてもすべて土に還るという仕組みが成り立ちます。建設の際に多くの CO₂を排出するため、このプロジェクトは本当に素晴らしいです。他にも、建材だけでなく設計でも配慮が必要であることを学びました。住み手の志向により家が柔軟に変化できるよう、構造上抜けない柱の位置を工夫する、リサイクルを考慮して接着剤を使わないといった、ただクライアントの要望に応えるだけではない姿勢が、これからの建築士には求められるのだと痛感しました。しかし、作り手のみが意識を持つだけでは意味を持たず、私たち使い手が責任を持って行動することが、持続可能な社会に繋がるのだと思いました。

2 年 S さん

トビタテ！留学 JAPAN 9 期生

マイ探究コース

「ドイツで学ぶ“サステイナビリティ”」

国・都市：ドイツ、ベルリン

留学期間：1 ヶ月

留学制度：トビタテ！留学 JAPAN

新・日本代表プログラム

活動：建築事務所でのインターン

現地の学校見学

建築事務所見学

今後の展望

学校生活との兼ね合いもあり、忙しい中ではありますが、今回インターンでお世話になった方のプロジェクト（大分県竹田市の酒蔵改修計画）をお手伝いしたいと考えています。また、学校の探究「日本の人々の住宅志向」と合わせて、日独比較をしたいと考えています。戦後の焼け野原に質の低い建物が多く建てられたという共通点を持ちながら、新築志向にある日本と古い建物に住み続けるドイツ（ベルリン）の違いを様々な視点から分析したいです。海外へのコネクションがほとんどゼロの中、たくさんの方々のご縁があってこの留学を作り上げることができました。様々なアクシデントもあり、一時は留学に行けないかも…という状態だったにも関わらず留学を実現できたのは、支えてくださった先生方、家族、友人の皆さんのおかげです。本当にありがとうございました！！